



らんざん RANZAN らんざん

【らんざんラベンダーまつり】



R5.6.10

～開かれた議会の実現をめざして～

8月29日(火)

午後1時～

議場コンサートを行います

出演団体：らんざん混声合唱団

- ◆ 議会報告会/モニターとの意見交換会 P 2～ 3
- ◆ 第2回定例会報告 P 4～ 5
- ◆ 一般質問9人が町政を問う P 6～14
- ◆ 常任委員会報告 P15～16
- ◆ 一部事務組合/政務活動費 P17
- ◆ この人に聞く P18

■ 令和5年第2回定例会傍聴者 29人



皆さん、ぜひお越しください!

議員が編集した手づくり議会だよりです。
こちらからご覧になれます ⇨



〈地域公共交通について〉

- タクシー券は使い勝手が良いが枚数に限りがある。現状の配布枚数でニーズに合っているか疑問。
- デマンドも良いがリスクがある。
- 町内を循環するバスを走らせてほしい。タクシー券は継続してほしい。
- タクシー券を利用する人は多い。自由に行動できる足の確保が必要。
- 嵐山町は車がないと不便な地域。もう少し公共交通が充実していると良い。
- NPO法人移送サービスは、運転手の充実と法人の運営ができるよう行政での応援が必要。
- 他市町村の先例を学んで取り入れてほしい。公共交通機関を利用して生活圏を広げることが大切。
- スクールバスとコミュニティバスのコラボレーションはできないか。他市町村では色々なやり方で試行している。
- 町でもスクールバスを考えている。全国の色々な状況を調査し検討することを議会やプロジェクト会議でも検討してほしい。
- 一人で外出できない高齢者は、町中に住んでいてもどこにも出掛けられず、ぽつんと一軒家に住んでいるのと同じ。今後は子どもの数も減ってくるので真剣に取り組んでほしい。

議会モニターと意見交換会 4月15日（土）開催

8名の議会モニターにご参加いただきました。
いただきました貴重なご意見につきましては、今後の議会運営に活かしてまいります。



前列：議会モニター

- 問 一般質問の動画配信の目的や方法は、
- 議 まずは配信することから始めた。方法については今後の検討課題としている。
- 問 一般質問のDVDを貸し出すことや、今後ケーブルテレビで配信することを考えているか。
- 議 ケーブルテレビは今のところ考えていない。一般質問はYouTubeで対応する。
- 問 子ども議会、若者会議をやってほしい。
- 議 若者会議は一度町に提言しているが、現在、総務経済常任委員会で検討している。
- 問 議会報告会の意見を双方向の議論に発展させ、議会の政策立案に活かしてもらいたい。
- 問 議員の地元の活動を知りたい。
- 問 傍聴席の階段が急な上、メモをとれるような場所がない。
- 議 階段が心配な方はバリアフリーの席を使ってほしい。
- 問 空き家を活用して移住者を受け入れる取り組みをしてほしい。

問…モニター意見 議…議員意見

第22回

～開かれた議会の実現をめざして～ 議会報告会・意見交換会を開催！

令和5年5月13日（土）に議会報告会及び意見交換会を開催しました。
26名の町民の方にご参加いただき、各テーマについて活発な意見交換の場となりました。
※報告書は町ホームページに掲載しております（右のQRコードからご覧になれます）。



テーマ：子育て支援について



テーマ：地域公共交通について

意見交換会での主な意見

〈子育て支援について〉

- 幼児に対する支援は手厚くなってきたが、小学生以上に対する支援が少ない。
- 公園で安心して遊べるように除草作業をしっかりとやってほしい。
- 赤ちゃん相談会や健診の回数が減った。保育園に入りにくく、仕事に復帰できるか不安。
- 子育ては子どものいる家庭だけの問題ではない。地域で子どもを育てる環境づくりが大事。
- 子育て支援ではお金の面で他市町村より優位性を付ければもっと人が入ってくると思う。
- 今の時代にあった校則を考えてほしい。
- 子どもの負担を考えて、ランドセルの自由化を発信してほしい。
- 子どもを預かる場所や放課後の施設が少ない。
- 障害を持つ子どもが利用できる施設がない。
- 運動会の駐車場係などシルバー人材センターにお願いするのはどうか。
- 子どもが学校に行けなくなった時どうしたら良いか分からない。
- 子どもが不登校になった時、相談先が見えない。
- 町と学校がもっと情報共有をすれば親が一人で悩むことはないと思う。町から情報があれば方向性が見えることもある。
- 病院には心の病を抱える子どもの受診が増えている。保護者に寄り添ってケアすることが必要。

令和5年 第2回定例会 (6月1日~6月8日)



報告第1号
令和4年度嵐山町
一般会計繰越明許費
繰越計算報告

庁舎管理事業他8事業を翌年度に繰越する

報告第3号
令和4年度嵐山町
水道事業会計予算
繰越の報告

新浄配水場施設用地取得事業他6事業を繰越する

承認第3号
専決処分の承認

個人住民税関係
●森林環境税の賦課徴収に係る規定の整備
個人住民税均等割と併せて1人年額千円課税(令和6年1月~)等
その他資産税関係・軽自動車税関係を含む

同意第3号
嵐山町固定資産評価委員の選任

久保均氏(新任)

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

(一般会計補正予算第1号)
歳入歳出 1547万円追加 総額64億7847万円
4~6月分の経費として補正

●子育て世帯生活支援特別給付金事業

(一般会計補正予算第2号)
歳入歳出 565万円追加 総額64億8412万円
児童1人あたり5万円(対象者には5月31日に支給済)

第2回定例会 町長提出議案審議結果



賛否はこちらで確認できます

議案番号	賛否の分かれた町長提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました	審議結果	小林智	伏守勝義	藤野和美	大野敏行	畠山美幸	長島邦夫	青柳賢治	川口浩史	松本美子	渋谷登美子	森一人
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度嵐山町一般会計補正予算(第1号))	承認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	議長
議案第32号	令和5年度嵐山町一般会計補正予算(第3号)議定について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	議長

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数の場合のみ「議長採決」として表明します(「裁」と記載)。

議案番号	全員賛成の町長提出議案
報告第1号	令和4年度嵐山町一般会計繰越明許費繰越計算報告について
報告第2号	令和4年度嵐山町一般会計事故繰越し繰越計算報告について
報告第3号	令和4年度嵐山町水道事業会計予算繰越の報告について
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(嵐山町税条例の一部を改正する条例)
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(嵐山町国民健康保険条例の一部を改正する条例)
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度嵐山町一般会計補正予算(第2号))
同意第3号	嵐山町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
議案第30号	嵐山町印鑑条例の一部を改正することについて
議案第31号	嵐山町介護保険条例の一部を改正することについて

請願・議員提出議案

地方自治法第99条の規定により、国(県)へ要望・意見を意見書として提出することができます。

議案番号	議員提出議案等 ※●の網掛けは賛成討論、×の網掛けは反対討論を行いました。	審議結果	小林智	伏守勝義	藤野和美	大野敏行	畠山美幸	長島邦夫	青柳賢治	川口浩史	松本美子	渋谷登美子	森一人
請願第1号	障害のある人、介護保険要支援・要介護の人などへの移動支援の法制度化を求める意見書の提出についての請願 提出者：NPO法人じもとメディア(代表)丸山香菜子様 紹介議員：渋谷登美子	趣旨採択すべきもの	●	●	×	●	●	×	●	×	●	×	議長
発議第4号	健康保険証廃止法案を撤回し、健康保険証を継続することを求める意見書の提出について	否決	×	×	●	×	×	×	×	●	×	●	議長
発議第5号	インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出について	否決	×	×	●	×	×	×	×	●	×	●	議長
発議第6号	入管法改正は抜本的な改正を求める意見書の提出について	否決	×	●	●	×	×	×	×	●	×	●	議長
発議第7号	障害者・介護保険要支援・要介護の人の移動支援の法制度を求める意見書の提出について	否決	×	×	●	×	×	●	×	●	×	●	議長

議案第32号 令和5年度 一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ
2億1047万円追加
総額6億9460万円

主な歳入

【国庫支出金】
新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金
7月から翌3月までの事業費の追加
4407万円

地方創生臨時交付金
電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業に要する経費
1億1102万円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金
3656万円

【県支出金】
新規就農総合支援事業補助金
375万円
防犯環境整備推進補助金
174万円
財政調整基金繰入金
1000万円

【自主財源】
防犯対策事業
特殊詐欺対策電話機等の購入への補助
500万円
65歳以上二世帯あたり

一台1万円以内
電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業

物価高騰の影響が大きい低所得世帯(住民税均等割非課税世帯)への支援に要する経費
6439万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業
8063万円

農業者支援事業
新規就農者にトラクター購入補助・価格高騰重点支援
442万円

小規模事業者等街路灯LED化事業
町内の小規模事業者等が所有する街路灯をLED化する事で省エネ対策を図り、事業者への支援をするため
1500万円

小規模事業者等賃上げ雇用拡大支援事業
前年度比3%増の賃上げや雇用拡大への支援
1446万円
武蔵嵐山駅東西連絡通路・駅前広場管理事業

駅東西口の防犯カメラ設置及びタクシー事業者への支援
285万円
学校給食費負担軽減事業
子育て世帯の経済的負担を増やすことなく物価高騰に伴う学校給食費の増額分に対するの補助
327万円

請願審査(請願第1号)
障害のある人、介護保険要支援・要介護の人などへの移動支援の法制度化を求める意見書の提出について

趣旨採択
※趣旨採択とは
請願について、願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてないといった場合に、不採択とすることもできないとしてとられる請願に対する決定の方法のこと。





大野 敏行 議員

空き家の利用拡大について

答 慎重かつ綿密な準備が必要

嵐山の売りは、環境・人に優しいこと

問 子育て中の家族が移住可能な空き家を町管理で募集することを提案します。モデルケースとして、貸主には固定資産税優遇措置、借主にはメンテナンス部分を町が実施する。移住を考えている方には、モデルハウスの見学や住民に話を聞けることが大事だと思うが、町の考えは。

と考えます。しかし、移住希望者の窓口となる移住サポートセンター等を設置し、貸主に対する優遇制度や借主に対する補助金支給等の支援制度を整備することと並行して、人員の配置も必要になってきます。町の財政状況と課の業務全般を鑑みると大変難しいと考えます。

再答 地域支援課長 コーディネーターがいることで、よりスムーズに話は進むと考えます。しかし、現在町では駅西口再開発等に取り組んでおり、課題が多くあります。まずは今ある問題を順番に解決していきたいと考えています。



杉山地内・外国の方が移住した家

再答 町長 東原区画整理地内や平沢区画整理地内には若い世代がたくさん転入しています。空き家は様々な状態

があり、そのまま貸し出せる状態の家はそれほど多くはありません。空き家バンク制度を利用した推移を見定めたいと思います。

再問 空き家に関する業務のうち、環境課の担当業務はどのようなものがあるか。

再答 環境課長 予防・利活用・管理対策・空き家バンク制度などがあり、利活用以外を受け持っています。移

再問 近い将来、外国人がたくさん移住して来ることが予想されます。その準備のために、多少予算を使っても、空き家を活用することが大事と考えるが



渋谷登美子 議員

誰もが楽しめるスポーツ「カーレット」を 今は安価なポッチャを普及したい

子どもも 大人も 障害のある人も 「ませ」せになろうよ

問 社会生活で障害のある人と一緒に学ぶ機会がなかったために、障害のある人との接し方が分からず戸惑う人が多い。差別のない生活を進めるため、昨年度人権集会で行なったスポーツ「ポッチャ」の普及について聞く。

答 生涯学習課長 ボッチャは屋内で容易に楽しめる競技のため、各地区や団体で実施するなど普及が進んでいる。ボールが安価に購入でき、子どもから高齢者まで幅広い年

再問 空き家に関する業務のうち、環境課の担当業務はどのようなものがあるか。

再答 町長 東原区画整理地内や平沢区画整理地内には若い世代がたくさん転入しています。空き家は様々な状態



みんなで楽しむカーレット (提供：狭山カーレットクラブまぜこぜ)

再問 空き家に関する業務のうち、環境課の担当業務はどのようなものがあるか。

再答 環境課長 予防・利活用・管理対策・空き家バンク制度などがあり、利活用以外を受け持っています。移

再問 近い将来、外国人がたくさん移住して来ることが予想されます。その準備のために、多少予算を使っても、空き家を活用することが大事と考えるが

- 【その他の質問事項】
- ◆ 学校再編の進捗について
- ◆ 地域経済活性化について
- ◆ 町立幼稚園について
- ◆ ごみ分別について
- ◆ 北部地区を中心とした地域公共交通会議の設置について



議員 勝義 伏守

「子どもなかなか社会
人にならな社会」

問 子どもなかなか社会の
会の実現と「子ども基本法」
も基本法」施行にあ
たって

(1)子どもなかなか社会
実現には、今まで以上
に子ども政策を強力に
推進する組織が必要で
ある。「子ども課」を
再設置するのも一案だ。
見解は。

(3)「子ども基本法」の
理念を生かし、子ども
の意見を聴いたり、町
の子ども政策の根拠と
なるような「子ども条
例」制定の考えは。

答 町長

(1)子どもからの意
見集約、子どもに関す
る全ての手続き、相談
等が「か所に集約され
る」「子ども課」の再設
置は、子ども家庭庁が
発足し、子ども基本法
が施行された今、検討
する価値は十分あると
考える。しかし、子ど
もに関する相談業務は
多岐に渡り、その相談
に対応する専門職を雇
用することが大変厳し
い状況にある。現在の
町の状況では数少ない
専門職を集中して配置

「子ども課」再設置の考えは

答 検討の価値はあるが、当面現体制でいく

し、より効率的かつ継
ぎ目のない業務の実施
ができていない。当面
の間継続していく考
えだ。

答 教育総務課長

(2)子どもへの周知
の方法等、国・県にお
いてもまだ明確に示さ
れていない。子ども基
本法を学校教育の中で
取り扱っていくことの
重要性は、教育委員会
としても理解している。
今後、周知の方法等
について国や県から示
される通知等をもとに、
対応を検討していく。

答 福祉課長

(3)子ども施策に関
する大綱を国が定める
ことになっている。ま
た、国の大綱に基づき
「都道府県(子ども計画)」



子ども基本法パンフレット
(出典：内閣官房ホームページ)

が定められた場合は、
双方を勘案して「市町
村子ども計画」を策定
することとなっている。
町としては、今後の国
県の動向を注視しなが

ら「子ども計画」の策
定を実施し、それらの
状況に応じて「子ども
条例」の制定を検討し
ていく。

【その他の質問事項】

- ◆いじめ・不登校児童生徒の状況と防止策について
- ◆駅西口周辺地区整備について
- ◆ヤングケアラー問題について



議員 智 小林

集約化・効率化で
農業の明るい未来を！

問 将来の農業振興の
方向と未来が見え
ない。明確なビジョ
ン作成は。

答 農政課長 今まで
の「一人・農地プラ
ン」が法改正により「地
域計画」となり、町基
本構想を策定すること
から、これに併せ課題
解決と将来ビジョンを
描いていきたい。

問 農地集約化・効率
化の現状と取組み
は。

答 農政課長 集約率
は北部76%中部
51%南部68%で実質化
しているが、まだまだ

産業としての農業の未来が大事。農業ビジョン作成は

答 今後は「地域計画」の中で未来図を構築していく

集約化が必要。ドロー
ンによる水稲播種など
スマート農業への取組
みのなかで集約化・効
率化を進められると考
えている。

問 ドローン播種や圃場
の集約化拡大の中で水
田の高低差が課題とな
る。高低差補正のレベ
ラー(均平作業機)導
入が望まれるが、有利
な補助制度があれば町
としても支援してい
きたい。

答 農政課長 全国の
農地の約2割とい
われるが、町では実態
把握はしていない。集
積・集約化の妨げとな

問 近年、全国的に所
有不明土地(農地)
が課題となっている。
解消への取組みは。

答 農政課長 全国の
農地の約2割とい
われるが、町では実態
把握はしていない。集
積・集約化の妨げとな

問 本年度にリニュー
アルされるが、経
緯、取組み、課題、期
待できることは。

答 地域支援課長 構
築から10年経過し
ての更新である。パッ
ケージ型の採用で大き
な新機能はなく、施設
予約などできないが、
スマートフォン対応、
見やすさ、探しやすい
を目指したい。



吉田・古里地区。昭和45年頃の圃場整備事業により、四角い圃場となる。



青柳 賢治 議員

学校応援団との連携・協力を大切に

問 教育長の所信を聞く。

答 教育長 子どもたちは未来を創る宝だということをまず大事にしたい。嵐山の子どもたちに笑顔があれ、自分の夢や可能性に挑戦していけるような教育を推進したい。生きる力を確実に身に付けられるように取り組む。またこの教育を推進するためには教育環境の整備・充実も必要になると思う。現在懸案となっている学校再編も積極的に進める。町のすべての方が夢や

町民のオリックス施設研修その後を聞く

答 検討会において詳細決定後報告する

志に挑戦できる教育が進められるよう全力で嵐山町の教育に取り組む。

適正な「ミ出し」の徹底について

問 (1)集積所のごみ散乱への改善策は。(2)オックス施設見学の進捗は。

答 環境課長 (1)アパート等の集合住宅にはオーナー又は管理会社を通じて、分別力リーダーを配布し、外国籍の住民に対しても一部多言語で翻訳したものを配布。状態が悪い集積所について連絡を受けた時は町から管理会社を通じて分別の周知徹底をお願いしている。

自転車ヘルメット着用促進について

問 自転車ヘルメット着用促進に町の支援は。

答 地域支援課長 努力義務で金銭的な支援は考えてない。町広報紙に掲載し広く周知する。その後ターゲットを絞って効果的に情報を届ける。



寄居バイオガスプラント
適正な分別=ごみ負担金の減

【その他の質問事項】

- ◆ 地域商品券の新たな普及、拡大について
- ◆ 防災対策について
- ◆ 投票率向上に向けた具体的取り組みについて



畠山 美幸 議員

高齢化で斜面の草刈りが厳しい

問 現在の財政調整基金の残高は。

答 総務課長 令和4年度末残高8億3006万円で、令和5年度6月補正後の残高は5億4006万円。

問 コロナ収束後の事業の進め方について聞く。

答 総務課長 現在の町の財政状況は改善傾向にあるが、今後2025年問題で経費の増加などにより、引き続き厳しい財政運営が予想される。コロナ収束後の事業の進め方は、既存事業の見直

草刈り機はオペレーター付きでレンタルが必要では

答 しっかり受け止めて、全力で取り組んでいく

しや事業の選択と集中、財政負担の平準化を重視し、健全な財政を維持しながら実施していく考えである。

問 教育関係の計画について歳入歳出をどのように考え、返済をする予定か。

答 教育総務課長 学校建設には多額の予算が必要で、資金の一部は借入れを行なうことになる。今後、公共施設建設基金の積立や補助金の活用により、町債の発行額をできるだけ少なくするよう計画を立てることが重要である。税収増やふるさと納税を活用しながら、既存事業の見直しや事業の選択・集中を行い、抑制

農地斜面の草刈り機

問 ラジコン草刈り機の活用について聞く。

答 農政課長 ラジコン草刈り機は、嵐山町環境保全型農業推進協議会が令和4年7月に購入した。町内の認定農業者や土地改良区などの団体に貸し出しを呼びかけたが、操作への抵抗感があり、貸し出しには至らなかった。しかし、令和5年度土地改良区等の総会で再度活用の呼びかけを行い、5月31日に多面的機能活動事業



40度の斜面も草刈りできるラジコン草刈り機

団体が利用した。今後、町職員によるデモンストラクションなどを通じて、活用促進に努める予定である。

【その他の質問事項】

- ◆ 熱中症対策について
- ◆ 5類移行後、学校対応について
- ◆ ごみ集積所について
- ◆ 商工会の外灯LED化について



川口 浩史 議員

学校再編による学校はどうか

答 3点の理由から菅谷小に新築の校舎を建設する

菅谷地区の中心地に商業施設がなかった。それなのはいづね。

問 西口駅前通りの埼玉りそな銀行を解体しドラッグストアが建設されるといふ。この通りは歩道が狭い、拡幅になるのか。

答 まちづくり整備課長 嵐山町所在地と交換を行い、1.5m分を確保し現況の歩道1mと合わせ、信号機からりそな銀行までは2.5mの歩道になる。

再問 りそな銀行の解体並びにドラッグストアの建設の際、登下校の子どもの安全対策は。

再答 まちづくり整備課長 安全の確保を徹底してもらおうという意見書を出している。
再問 誘導員は配置されないのか。
再答 まちづくり整備課長 配置される。

学校は菅谷小に

問 学校再編に伴い菅谷小中学校の※耐力度調査をおこなった結果は。

答 教育総務課長 4500点以下だと新築に補助金があり、以上だと長寿命化工事に補助がある。菅谷小は4500点以下が2か所あり、菅谷中は3か所とも4500点以上であった。この結果

※公立学校施設における建物の構造耐力、経年による耐力・機能の低下、立地条件による影響の3点の項目を総合的に調査し、建物の老朽化を総合的に評価するもの。

から次の理由で菅谷小に新築の校舎を建設することにした。①審議会の答申内容に沿う②同一敷地内により一貫教育が円滑に推進できる③体育館、プールの使用に児童の移動の安全を図ることができる。

再問 どうして菅谷小に決定したことを文書で出さないのか。

再答 教育長 これから基本計画を作成する。影響がないようにである。基本計画作成後は文書でも出し丁寧に説明する。

再問 菅谷中は長寿命化で済む。費用も安価ではないか。なぜ菅谷中にしなかったのか。



りそな銀行から信号機までは歩道が2.5mに広がる。よかった。=R5.6.26

【その他の質問事項】
◆玉ノ岡中学校入り口前の空き店舗について



長島 邦夫 議員

土砂災害警戒区域が指定されているが対応は

答 危険時は個別受信機で直接避難を呼びかける

人命が第一の施策を！

問 日本は昔から地震が多く、特に今年5月からは震度4以上が12回も発生。町内には県より37箇所の土砂災害警戒区域が指定されている。対応は。

答 地域支援課長 区域内に28世帯68人の方が住んでいる。28世帯には防災無線の個別受信機を設置し、直接避難を呼びかけている。

問 各地区の防災倉庫利用状況は。
答 地域支援課長 12防災会、30力所の防災倉庫が設置されて

いる。各地区とも定期的に資機材の点検を行っているのと認識している。周知や利用頻度を上げるため、訓練時だけでなく、地域のお祭りやイベント等でも気軽に使ってもらいたいと要望している。

問 以前は、町全体で大規模訓練を実施していたが、今後は細分化した訓練予定とされている。各地区の状況は。
答 地域支援課長 数カ所を除き、毎年訓練しているが、防災会の意欲や活動はかなりの濃淡が見られる。意欲の高い防災会は年4回の訓練・研修を行っている。今後は地域支援課と地元消防団

の共同で防災会の訓練をサポートしていく。
通学路の安全対策について

問 全国的に通学途中の交通事故が多発している。スクールゾーン、グリーンベルトの状況は。
答 まちづくり整備課長 スクールゾーンは菅谷小学校4路線、志賀小学校1路線が指定されている。歩道、グリーンベルトは要望があった箇所について可能な限り施工している。

再問 通学路としては志賀小学校裏門の線路陸橋は大変狭く危険である。スクールゾ



安心、安全な通学路に感謝=R5.6.10



藤野 和美 議員

本当に聞く耳があるのか問われている

問 学校再編の基本計画案に盛り込まれる内容は。

答 教育総務課長 検討中だが、学校の位置、開校時期、通学支援の3点は必須と考

問 財政計画やその他の事項は。

答 総務課長 現在のところ、財政計画、スクールバスの運行、通学路の整備、学童保育については、詳細な検討が始まっていない状況。跡地利用計画については町民向けのアンケート調査も考えて

答申の配慮事項まで含んだ案にすべきでは

答 決められるところから決めていきたい

いる。

再 答申を尊重するのであれば、配慮事項もしっかりと検討して、あわせて案として町民に示すべきではないか。

問 検討する考えは。

答 教育総務課長 良さは理解しているが、答申にないことなので、難しいかと考え

小規模特認校制度について

問 検討する考えは。

答 教育総務課長 七郷小を残してほしいという児童や保護者の声がある。やってみる意義はあるのではないかと考える。

奨学資金貸付制度について

問 運用状況は。

答 教育総務課長 貸付基金の原資は6400万円であり、令和4年度末現在の貸付総額は約2929万円、基金残高は約3470万円となっている。

補聴器購入費用助成について

問 町としての考えは。

答 長寿生きがい課長 前向きに検討する。前向きとは。

再 長寿生きがい課長 各方面との調整もあるが、できるだけ早め

総務経済常任委員会

●今後の観光振興のあり方について
●ウィズコロナ時代におけるまちづくりについて
(3月27日・4月13・26日・5月9・17日)

●現地視察(2月8日芋はん山口農園)の総括

農家社会は男性中心の社会だったが、近年女性が活躍している。このことは活性化するためのキーワードになる。

●古里観光芋ほり農園、勝田梅林周辺、らんざん営農への現地視察

◎委員の主な意見
・観光芋ほり農園は、人的な協力体制が重要になる。
・らんざん営農の農業体験は実績もあり、今後も積極的に続けてほしい。

・ため池農法が農業遺産になり光が見えてきた。更にドローンの導入で田植えの軽減化が進めば良い。

●提言案の検討
委員全員のご承のもと、次のように提言することとした。

提言

◆北部地域の観光振興の充実と活性化に向けて

- ① 観光ブルーベリー園及び隣接の観光芋ほりが一体となった事業展開を図り、サポート体制の構築、受け入れ態勢の拡充、来客数の増加策などを検討されたい。
- ② らんざん営農が実施しているスマート農業「ドローンによる水稲直播作業」の見学会などを企画・PRし「お米作り農業体験事業」が更に充実するよう支援されたい。らんざん営農は、町としても北部地域としても欠かせない団体であり、人材不足に対してのフォローを積極的に図られたい。
- ③ 比正丘陵の天水を利用した谷津沼農業システムが日本農業遺産に認定されたことを機に、ため池農法による「天水米」のブランド化の推進と販売促進を図ると同時に日本農業遺産と観光を結びつける方策を検討されたい。
- ④ ①、②、③の事業に嵐山町観光協会が連動するシステム作りを策定されたい。



らんざん営農との意見交換=R 5.4.13



古里地区さつまいも畑視察=R 5.4.13



ため池農法による「天水米」

ウィズコロナ時代におけるまちづくりについて

●教育委員会との質疑応答

◎委員の主な意見

- ・子ども議会のメリットも十分理解しているが、開催に当たり相当の準備がかかる。
- ・町に対する子どもの意見を作文に書いてもらうのはどうか。
- ・子どもが議会や議員に慣れることが大事。どんどん出向くことが必要。
- ・議会としても、学校という場を活用して(授業の一環として)子どもの意見を聞く場を持つように努める。
- ・子どもの意見を述べる場を行う政が作っても良いと思う。

文教厚生常任委員会

●人口減少対策について
(3月24日・4月11・26日・5月18日)

●「風丸のんぼ」保育広場(レピ)現地視察

主な意見

- ・コロナ禍で予約制となり、急な予定変更に対応できないのが困る。
- ・子どもと一緒に遊べて、保護者もほっとできる場所(お店)が欲しい。
- ・幼稚園が長期休暇の際、預かってくれるところが必要。
- ・未就学児だけなので小学生の兄弟姉妹の利用ができない。
- ・長期休暇中は上の子ども利用できると良い。
- ・町内に駐車場や遊具のある公園が少ない。

●令和5年度保育園入所状況確認

東昌保育園は定員60名に対して74名、東昌第2保育園は71名に対して70名、若草保育園は定員71名に対して70名、しらこばと保育園は定員45名に対して38



子育て広場レピ=R5.3.24

名、たいよう保育園は定員5名に対して7名入所。町としては3年連続で待機児童ゼロとの説明を受ける。
問 第一希望に入園できない場合の対応は
答 希望に添えない場合、窓口では単に定員だからとお断りするのではなく、保護者の気持ちも汲んだ上で丁寧に説明し、納得いただいていると思う。

●子育てと出会いの場へ

立正大学社会福祉学部内に設置された子育て支援センター「ベアリス」と埼玉県自治体婚活サービス「恋たまさいたまサポートセンター」の2ヶ所を視察。

ベアリス

天気の影響を受けない「屋根のある公園」をコンセプトに、様々なイベントを実施している(現在要予約)。コロナ禍で閉館中は、希望者に自宅で遊べるおもちゃの製作キットや貸し出し用絵本を郵送していた。



ベアリス=R5.5.18

恋たまさいたまサポートセンター

参加状況

- ・市町村会員50市町村(嵐山町も参加)
- ・企業等会員62社・団体が参加

進捗状況(4月30日現在)

- ・男性9116人、女性7022人
- ・お見合い組数2万4475組
- ・交際組数9599組
- ・成婚退会組数355組



恋たまさいたまサポートセンターシステム説明=R5.5.18

小川地区衛生組合議会

3月29日(水)令和5年第1回臨時会が小川町議会議場にて開催され、提出された議案3件は原案通り可決されました。

管理者提出議案

●議案第7号
小川地区衛生組合個人情報保護法施行条例制定について
個人情報保護法改正に伴い制定するもの。

議員提出議案

●議案第1号
小川地区衛生組合議会の個人情報の保護に関する条例制定について
個人情報保護法改正に伴い制定するもの。

●議案第2号

小川地区衛生組合議会会議規則の一部を改正する規則制定について
用語の明確化等に対応するもの。



小川地区衛生組合 不燃物処理施設

比企広域市町村圏組合議会

5月29日(月)令和5年第2回臨時会が東松山市議会議場にて開催され、提出された議案2件は原案通り可決されました。

議会構成

議長：斉藤雅男(東松山市)
副議長：山口勝土(小川町)
総務常任委員長：吉野正浩(滑川町)
厚生常任委員長：森一人(嵐山町)

●議案第16号

監査委員の選任 百瀬浩子(東秩父村)

●議案第17号

財産の取得について
滑川分署に高規格救急車を配備2225万円

主な質疑

問 救急車の入れ替えの基準は
答 20万kmまたは12年。

問 入れ替え前の救急車の活用は
答 距離16万8000km、6年目である。

当分使用可能なため、東松山市の救急需要の増大に因應するため2台目として活用する。



※高規格救急車…救急救命士が行う救命処置に必要な資器材を有し、気管挿管や薬剤投与などの特定行為を実施するスペースが確保された高機能・高性能な救急車。

政務活動費 (令和4年4月～令和5年3月)

議員の調査研究のための必要経費として、議員あるいは会派に対して交付する金銭のこと

◆交付額 議員一人当たり月額：2,500円



収支報告書はこちらからご覧になれます

会派、議員名	収入額	支出額	町返還額
政友会：小林 智、狩守勝義、大野敏行、 畠山美幸、長島邦夫、青柳賢治、 松本美子	R4.4月～R5.1月分 (8人) 200,000円	102,972円	132,029円
	R5.2.月～R5.3月分 (7人) 35,000円		
	利息 1円		
	合計 235,001円		
日本共産党：藤野和美、川口浩史	60,000円	6,632円	53,368円
渋谷登美子	30,000円	32,800円	0円
森一人	30,000円	0円	30,000円

この人に聞く

嵐山町に 惹かれて

小出 重治 さん (志賀)



15歳で上京就職

1962年(昭37) 中学校を卒業すると、新潟県南魚沼から集団就職で東京練馬区にある昭和化学製作所に就職しました。田舎の中学からは、12名で上京し、仕事、寮での生活が始まりました。その様な中でも、中学で養った野球の技量で先輩、仲間達と励ましあいがあつたらこそ、生活を続けられたと思っております。

嵐山町に来たのは

始めは、三菱鉛筆の協力工場として鉛筆削りの削り機の製造でした。入社して間もなく社名が昭和機

器工業(株)に変わ

り、1967年(昭42)、私が20歳の時に工場全体が嵐山町に移設することになりました。今でも記憶にはつきりありますが当時の町長さんを始め、5名の方が会社見学にお見えになり、「嵐山町は緑も多く、環境が良いところであり、是非嵐山町にお越しください。」とお声をかけていただいたのが嵐山町に来たきっかけの一つです。誘い言葉に何か惹かれた記憶が残っております。

嵐山町で50年

暮らして

嵐山町に工場を立ち上げる若き二代目社長は私の3才先輩であり、私はこの地に骨を埋めるつもりで、切磋琢磨

し励んで参りました。

おかげさまで23歳の時、所帯を持つことができ、嵐山町の高度成長とともに歩んできた感じがしてなりません。会社も順調に成長し、業務内容も、自動車関連の部品製造に変わっていき、地域に根付いた会社になったとも思っています。会社を離れば、地域の友達とのコミュニケーション、飲みニケーション、そして大好きな野球や野球審判、カラオケと楽しい日々だけが思い出されます。嵐山に来てから早50年以上が過ぎ、振り返れば災害も少なく安心安全な町にも感謝しています。今後は健康管理を第一に興味を生かした時間を過ごしていきたいと思っています。



地元企業、昭和機器工業(株) = R5.6.8

お忙しい中、有難うございました。
編集委員会

編集後記

今、季節は風香る嵐山であり、その名のこころ素晴らしい香りが町中に漂っています。駅に降りると駅前から、各家庭の庭にも、部屋にもラベンダードライの香りが漂っています。そのような癒しの中、議会だより編集作業を進めています。期間は定例会後、約1ヵ月半であり、集中的にいかに見やすく、理解していただけるよう努力しています。(長島)

次回の定例会は 8月25日(金)開会の予定です。皆様の傍聴をお待ちしています。
請願・陳情は 8月17日(木)午後5時までに提出してください。